

## 令和5年度 石狩市教育委員会会議（6月定例会）会議録

令和5年6月30日（火）

開会 13時30分

市役所本庁舎 201会議室

### ○委員の出欠状況

| 委員氏名      | 出席 | 欠席 | 備考      |
|-----------|----|----|---------|
| 教育長 佐々木隆哉 | ○  |    |         |
| 委員 松尾拓也   | ○  |    | 教育長職務代理 |
| 委員 根本壽夫   |    | ○  |         |
| 委員 坪田清美   | ○  |    |         |
| 委員 鈴木里美   | ○  |    |         |

### ○会議出席者

| 役職名             | 氏名   |
|-----------------|------|
| 生涯学習部長          | 蛭谷学俊 |
| 生涯学習部次長（教育指導担当） | 高橋真  |
| 生涯学習部次長（社会教育担当） | 伊藤学志 |
| 総務企画課長          | 東薫   |
| 学校教育課長          | 森本栄樹 |
| 教育支援課長          | 鈴木昌裕 |
| 市民図書館副館長        | 岩城千恵 |
| 社会教育課長（兼公民館長）   | 斉藤晶  |
| 給食センター長         | 高石康弘 |
| 文化財課長           | 小島工  |
| 浜益生涯学習課長        | 開発克久 |
| 総務企画課主幹         | 笠井剛  |
| 総務企画課総務企画担当主査   | 鎌田晶彦 |
| 総務企画課総務企画担当主任   | 波京平  |

### ○傍聴者 2名

## 議事日程

日程第1 会議録署名委員の指名

日程第2 教育長報告

日程第3 協議事項

- ① 令和5年度教育委員会の点検・評価について（令和4年度実施分）

日程第4 報告事項

- ① 石狩市教育委員会基礎データについて
- ② 教職員研修「サマーセミナー」について
- ③ 令和6年石狩市「はたちのつどい」の開催日時等について

日程第5 その他

日程第6 次回定例会の開催日程

---

## 開会宣告

（佐々木教育長）

ただいまから令和5年度教育委員会会議6月定例会を開会いたします。

日程第1 会議録署名委員の指名

（佐々木教育長）

日程第1 会議録署名委員の指名ですが、これは坪田委員にお願いをします。

日程第2 教育長報告

（佐々木教育長）

日程第2 教育長報告を議題とします。

（佐々木教育長）

6月定例会での教育長報告につきましては、お配りしております資料をご覧ください

いただきまして、報告に代えさせていただきたいと思います。ご質問などあればお願いします。

**(松尾委員)**

6日の令和5年度北方領土復帰期成同盟石狩地方支部通常総会とありますが、こちらの団体とは教育委員会としてどのように関わっているか教えていただきたいです。

**(佐々木教育長)**

石狩市の場合は、教育長がこの支部の委員を担うということで参加しています。それぞれの市町村でどのような部署、団体が関わっているかは様々となっております。

**(松尾委員)**

わかりました。ありがとうございます。

**(佐々木教育長)**

他にはございませんか。

**(鈴木委員)**

25日の令和5年度石狩消防団訓練大会はどのような内容だったのでしょうか。

**(佐々木教育長)**

令和5年度石狩消防団訓練大会は来賓として参観してまいりました。消防団の方々が水槽からホースで水をひき、消火訓練をするというような内容でした。市長、副市長、各議員、監査委員も一緒に参観しておりました。

**(鈴木委員)**

ありがとうございます。

**(佐々木教育長)**

他にはございませんか。

**【質問なし】**

**(佐々木教育長)**

ないようですので、教育長報告について、了解ということによろしいでしょうか。

**【異議なし】**

(佐々木教育長)

ご異議なしと認め、教育長報告について了解をいただきました。以上で、日程第2教育長報告を終了します。

**日程第3 協議事項**

(佐々木教育長)

次に、日程第3協議事項を議題といたします。協議事項①令和5年度教育委員会の点検・評価について(令和4年度実施分)、事務局から説明をお願いします。

(東課長)

それでは私から協議事項① 令和5年度教育委員会の点検・評価についてご説明をいたします。

今年度の点検・評価につきましては石狩市教育プランの3年目となり、令和4年度実施事業に関わる内容になっております。教育委員会事務局が自己評価を行う取組内容と評価基準及び外部評価委員から意見をいただく区分などについて変更はございません。併せて、様式につきましても昨年度と同様で変更はございません。

資料2ページから5ページの1教育委員会の活動状況及び8ページから35ページの評価報告書につきましては、令和4年度の実績に基づき記載をしております。これら以外のページについては、昨年度と変更はございません。

本日は協議ということで、事務局の原案を提出させていただきまして、この後、7月定例会の開催までに委員の皆さまのご意見をお聞きする機会を設けまして、必要な修正を行い、9月開催予定の外部評価委員会に向けて準備を進めてまいりたいと考えております。私からは以上でございます。

(佐々木教育長)

内容についての細かいやり取りは今後ということになりますが、この件について、ご意見、ご質問等ありませんか。

**【意見・質問なし】**

(佐々木教育長)

質問等がないようですので、協議事項①を了解ということでよろしいでしょうか。

【異議なし】

(佐々木教育長)

ご異議なしと認め、協議事項①を了解しました。以上で、日程第3協議事項を終了します。

#### 日程第4 報告事項

(佐々木教育長)

次に日程第4報告事項を議題といたします。報告事項①石狩市教育委員会基礎データについて事務局から説明をお願いします。

(東課長)

お配りしている資料1ページにつきましては、5月定例会の中で既にご報告済みでありますので、本日は2ページ目以降について、各所管から順にご説明したいと思います。よろしく願いいたします。

(鈴木課長)

それでは、私から令和4年度の教育支援委員会の協議状況をご説明申し上げます。

教育支援委員会では、児童生徒の就学先や支援内容について、専門的な立場から協議し、それぞれに応じた学びの場を総合的に判断していく組織でございます。この結果を元に児童生徒、保護者の意向を最大限尊重し、教育的ニーズの合意形成を行うことで、新就学児童または特別支援学校からの転籍等について、協議していく組織になっております。

具体的な数字について説明申し上げますと、令和5年度新就学児童のうち62名について協議を行いました。結果としまして、通常学級41名、特別学級20名、特別支援学校1名ということで、それぞれに適した学びの場であると判定したところです。

続きまして、在籍する児童生徒に関しての協議ということで、54名の児童生徒について協議をいたしました。それぞれ通常学級から特別支援学級、特別支援

学校への転籍、特別支援学級から通常学級への転籍、特別支援学校から通常学校への転籍、通常学級から特別支援学級への転籍、中学校の進学にあたっての協議、特別支援学校への転籍に関わる協議ということで、それぞれ54名の内容について協議を行いました。前年度に比べ、23名増えた結果となっております。私からは以上でございます。

#### **(高石センター長)**

次に、令和4年度学校給食費収納状況の概略を私からご説明いたします。

まず表中の現年度分につきまして、調定額2億5,619万8,078円、収納済額2億4,993万3,284円、令和4年度の収納率は97.6%となっております。滞納繰越分については、調定額2,770万4,301円、収納済額176万933円、令和4年度収納率については6.4%となっております。合計で調定額2億8,390万2,379円、収納済額2億5,169万4,217円、収納率については、合計で88.7%となっております。私からは以上です。

#### **(齊藤課長)**

私から令和4年度社会教育施設等の利用状況についてご説明いたします。

学び交流センターやカルチャーセンター、公民館は前年度までの新型コロナウイルス感染症の影響がなくなり、利用者が増加したと推測されます。なお、公民館本館(学び交流センター)で利用者が増えた他の要因としまして、旧公民館本館が令和4年度をもって廃止となり、その利用者が学び交流センターに移動したものと考えられます。続いて、ふれあい研修センターと美登位創作の家の利用状況です。高岡ふれあい研修センター以外の施設は、前年度の新型コロナウイルス感染症の影響がなくなり、利用者が増加したと推測されます。高岡ふれあい研修センターは、札幌市のスポーツ少年団が使用しなくなったため、利用者・件数ともに減少しております。私からは以上でございます。

#### **(小島課長)**

私から令和4年度資料館の入館者数についてご説明いたします。

いしかり砂丘の風資料館、はまます郷土資料館共に令和3年度対比で若干の増加となっております。これについては、前年度より外出の制限が緩和されたことにより、入館者数が増えたものと考えております。私からは以上です。

#### **(岩城副館長)**

私から令和4年度の図書館の利用状況について説明させていただきます。

まず、表についてですが、左の列が施設名となっており、上から本館、各分館、

あいかぜとしょかん、全館の順に記載しています。隣の欄は開館日数、貸出点数を記載し、参考として下段に本館の入館者数を記載しています。

次に4月から3月までの各開館日数、貸出点数、右側には前年度の合計数と増減率を記載しています。下段の別表につきましては、「その他の指標」として蔵書点数、利用登録者数、レファレンスサービス件数を記載しており、令和4年度の実績に加え、前年度数及び増減、増減率を記載しています。

所管課の見解としまして、開館日数は新型コロナウイルス感染症の臨時休館措置がなかったため、全館増加したものと考えております。なお、各館の開館日数が異なっている理由は記載のとおりです。貸出点数につきましては、開館日数が増加したことに伴い、増加している館が多く、花川南分館については開館日数が5割程度の増加となり、貸出点数も6割程度増加しています。あいかぜとしょかんは貸出点数が微減となっており、これに関しましては、同館の令和3年度実績が例年と比較して、大きく増加したことがあり、その反動で少し減少したものと考えております。

利用登録者数の減少につきましては、図書館まつりの中止、科学の祭典in石狩のオンライン開催、図書館まつりの代替イベントである秋の読書週間イベントを分散化するように実施するなど、新規利用者が来館する機会の減少が原因と考えております。

なお、コロナ禍前の図書館まつりにつきましては5,000人程度、科学の祭典in石狩については1,000人から2,000人程度の来館者数があったという実績があります。レファレンスサービス件数の伸びにつきましては、本があるかどうかを司書に確認することで、短時間で借りたい本を入手することができる便利なサービスとして市民の方々に浸透してきたことが増加につながったと考えています。昨年度につきましては、臨時休館があった中でも件数は増加しており、令和4年度につきましても所蔵調査件数、事項調査件数ともに増加となっております。私からは以上です。

#### (佐々木教育長)

ただいまの説明に関して、ご意見、ご質問等がありましたらお願いいたします。

#### (松尾委員)

令和4年度に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響が薄くなってきたことによって、施設の利用が増えてきているという状況ですが、今年度に入ってから前年度にも増して、影響が薄まってきていると考えております。今年度の各館の来館状況について、わかる範囲で結構ですのでお教え願います。

(齊藤課長)

実際に私が施設を訪問した感覚としましては、去年とそう変わらない印象を持っております。

(小島課長)

砂丘の風資料館のみの話で申し上げますと、今年度の入館者数については、4月が169人、5月が124人となっておりますので、昨年度と概ね同じ状況です。

(岩城副館長)

市民図書館の入館者数ですが、令和4年4月は13,991人、今年度につきましては14,394人ということで微増となっております。5月につきましては昨年が13,272人、今年度13,839人ということで、こちらも微増となっております。

(松尾委員)

ありがとうございます。

(佐々木教育長)

他にご意見、ご質問等がありましたらお願いいたします。

**【意見・質問なし】**

(佐々木教育長)

ないようですので、報告事項①を了解ということでよろしいでしょうか。

**【異議なし】**

(佐々木教育長)

ご異議なしと認め、報告事項①は了解をいたしました。次に報告事項の②教職員研修「サマーセミナー」について、事務局から説明をお願いします。

(高橋次長)

石狩市教職員研修「サマーセミナー」について、私からご説明いたします。

お手元の資料にありますように、今年7月24日から28日にかけて9講座を予定しております。対象者は石狩市に勤務している教職員となっております。特に今年度から石狩市に勤務した教職員を優先的に希望の講座で研修を受けてもらうという形式をとっております。9講座全ての受講者数は延べ人数で260名



となるかと予想しております。昨年度はコロナ禍にありまして3年ぶりにこのサマーセミナーを実施いたしました。昨年度の講座は「いしかり学」と称した教職員に石狩市のことをより知ってもらう講座を実施しました。石狩湾新港、俳句、手話及び石狩市の歴史に関する4講座を実地・体験型の研修を行いました。新型コロナウイルス感染症も5類に移行しましたので、徐々に以前と同じような講座数にしていこうということで、今年は5講座を加え、計9講座を用意しました。この5講座につきましては、今日のかつ石狩市における教育課題に焦点を当てたものです。具体的には、不登校対策、ICTを活用した授業改善、体育実技、学習指導、読みが苦手な子どもへの支援の5講座となっております。

詳しい資料ということで2次案内の資料をお配りしております。こちらには講座の内容の概要が記載されております。少し紹介をさせていただきますと、「不登校などの子どもたちへの支援」ということで北星学園の准教授である大友先生をお招きして、ソーシャルワークの役割と課題やチームアプローチと連携・協働ということで講義いただく予定となっております。

次に「ICT機器の活用」の講座では、石狩市においても石狩市ICT教育プロジェクトチーム、ICT教育推進担当者会議などの協議会、研修会を開催しているところですが、このサマーセミナーにおきましては、石狩市ICT教育プロジェクトチームのメンバーが講師になるのではなく、石狩教育局教育支援課義務教育指導班から加藤指導主事をお招きして研修を実施します。

次に「体育実技研修」につきましては、緑苑台小学校に在籍している体育専科の石村教諭から今まで培われた知見を活かした授業形式の講座を行い、体育授業のスキルアップを目指すものであります。

次に「学習指導」につきましては、石狩市の積年の課題であります国語科における「読むこと」領域に係る授業実践を行います。算数・数学については、小学校中学校の9年間を見通した授業づくりが必要になるという観点から、数学専科でもあった花川南中学校の川端校長からお話をいただくこととなっております。

次に「読みが苦手な子どもたちへの支援」につきましては、この夏休み前までの課題として1年生が全てひらがなを学習するということが掲げられているのですが、その点について、この時期にチェック、確認することで、それ以降の学習がスムーズに行われるということに焦点を当てた講座となっております。

最後に、いしかり学の4講座については、毎年行っているところですが、バージョンアップもしており、受講する教諭に石狩市のことを知ってもらおうという内容となっております。私からは以上です。

(佐々木教育長)

ただいまの説明に関して、ご意見、ご質問等がありましたらお願いいたします。

**(佐々木教育長)**

サマーセミナーに教育委員の皆さんが参加することは可能でしょうか。

**(高橋次長)**

昨年度のウインターセミナーに参加していただいたのと同様に参加可能でございます。バスによる移動がある講座もあり、バスの定員もありますことから希望する教諭の人数によっては、ご希望に添えない場合もあるかもしれません。

参加を希望される方につきましては、私が希望講座を取りまとめて調整、講師に報告したいと思います。

**(佐々木教育長)**

興味ある講座がありましたら、高橋次長へ連絡お願いいたします。

他にご意見、ご質問等がありましたらお願いいたします。

**(鈴木委員)**

既に講座の申込は開始しているのでしょうか

**(高橋次長)**

資料の2次案内は昨日送付していて、申込は開始しております。

**(鈴木委員)**

毎年、各講座の人数に偏りというのはあるのでしょうか。

**(高橋次長)**

やはり人気の講座はあります。希望講座は、第3希望まで聴取し、可能な限り希望に添う講座を受講してもらっております。

**(鈴木委員)**

ありがとうございます。

**(佐々木教育長)**

他にご意見、ご質問等がありましたらお願いいたします。

**【意見・質問なし】**

(佐々木教育長)

ないようですので、報告事項②を了解ということでよろしいでしょうか。

**【異議なし】**

(佐々木教育長)

ご異議なしと認め、報告事項②は了解をいたしました。次に報告事項③「令和6年石狩市「はたちのつどい」の開催について」事務局から説明をお願いします。

(齊藤課長)

私から令和6年石狩市「はたちのつどい」の開催について、日時等が決定いたしましたのでご説明いたします。

石狩市「はたちのつどい」は20歳を祝福すると共に将来の社会を支える責任を自覚する機会として、厳粛で温かみのある式典にしたいと考えております。主催は石狩市及び石狩市教育委員会、期日は令和6年1月7日(日)、会場は花川北コミュニティセンター、対象者は平成15年(2003年)4月2日から平成16年(2004年)4月1日生まれの方であります。

日程につきましては、昨年、今年と新型コロナウイルス感染拡大防止のため午前、午後の2回に分けて開催しておりましたが、来年1月は14時から一斉開催といたします。日程の詳細は資料に記載のとおりです。

なお、式典終了後に実施しておりました集合写真の撮影は行いません。私からの説明は以上です。

(佐々木教育長)

ただいまの説明に関して、ご意見、ご質問等がありましたらお願いいたします。

**【意見・質問なし】**

(佐々木教育長)

ないようですので、報告事項③を了解ということでよろしいでしょうか。

**【異議なし】**

(佐々木教育長)

ご異議なしと認め、報告事項③は了解をいたしました。以上で、日程第4 報

告事項を終了します。

**(佐々木教育長)**

次に、日程第5 その他を議題とします。教育委員の皆さんから何かございませんか。

**(佐々木教育長)**

事務局から何かありませんか。

**(高石センター長)**

本日、給食事業に係り起きました件について、速報として報告させていただきます。

本日、9時10分頃に炊飯器を運ぶベルトコンベアーが動かなくなってしまう事象が発生し、旧石狩市域の13校への米飯の提供が不能となりました。事象発生後、すぐに器機の製造元、メンテナンスの会社に連絡をし、対応を図るも提供不能という結果となりました。代替食材の対応につきましては、食材の納入業者に呼びかけた結果、食パンを提供できることとなりまして、各校には通常配送よりも若干遅れて配送を行いました。通常配送より5分～10分程度遅れてしまった学校もあります。その後、製造元の会社のほうから最終的な破損の状況を確認しまして、ベルトコンベアーのベアリングが破損しているの報告を受けました。修理には1週間程度時間を要するというので、来週の米飯の提供日には、別途対応を図りまして、なんとか米飯の提供ができるよう手配をしているところであります。現在、速報ということでこの場をお借りして報告させていただいているところですが、今後、市長、副市長、市議会議員の皆さまにも報告いたします。また、学校、保護者、報道機関につきましても本日中に報告する予定であります。5月に引き続き事故が発生してしまい大変恐縮なのですが、速報ということで報告させていただきました。以上です。

**(斉藤課長)**

続いて、私から公民館夏まつりについて説明させていただきます。

お配りしましたチラシをご覧ください。先ほどの社会教育施設の利用状況でご説明しましたとおり、学び交流センターの利用者数が多くなっておりまして、団体間でなかなか顔をあわせ、言葉を交わす機会もないということから交流を深める機会を作らなくてはならないということで、この度、公民館夏まつりを開催することといたしました。主催は石狩市文化協会と石狩市教育委員会。日時は令和5年7月23日(日)10:00～15:00。会場は石狩市学び交流センターです。

内容といたしましては、各団体が日々の活動をステージやパネルステージなどを利用して披露するものであります。その他恒例であります石狩手打ちそば同好会のそばの提供、こちら 500 円、それから厚田こだわり隊による豚串、豚まんなどの食べ物、飲み物の提供販売も行われる予定であります。私からは以上です。

#### (開発課長)

私のほうからイベントメモについて報告させていただきます。「荘内班の歴史を知る」という催しを6月20日から7月10日まで開催しています。加えて、7月1日(土)にギャラリートーク、7月2日(日)にハマシケ陣屋フィールドワークということで約1kmの散策をそれぞれ実施いたします。7月8日(土)には「大地の侍」という幕末藩士の活動を描いた上映会をきり多目的ホールで開催します。

このイベントにつきましては主催を町内会、荘内藩陣屋研究会、石狩市教委共催のもと行うものになっており、この陣屋研究会というのは平成26年に地元有志らで結成された研究会になっておりまして、会員は31名となっております。

活動内容につきましては、陣屋の歴史の研究、今後研究会での研鑽にあてるために荘内藩関係の資料の収集、調査、近隣市町村の視察、このような活動を展開しております。

浜益の郡部、礎となります荘内藩、現在の山形県、ここの藩士や農民が幕府の命によりまして北方警備にあたりました。この9年間の歴史の全般について展示をするものでございます。お時間がありましたら是非ご覧いただければと思います。私からは以上です。

#### (佐々木教育長)

ただいま、3点報告がありましたが、ご質問などあればお願いいたします。

#### (松尾委員)

まず、給食の設備が壊れた件についてですが、機械の故障ということなので、あまり人的な要素はないのかなと思うのですが、再発防止に向けてなにか取り組めることがあればお教え願います。例えばメンテナンスの頻度を増やすなどはどうでしょうか

#### (高石センター長)

5月の事故は人的なものであったのですけれども、今回につきましては機械的なもので、日頃からメンテナンス、清掃を行っております。今回、故障が発生した箇所が、通常のメンテナンスでは目が届かない箇所になっており、定期的に

点検するような箇所と考えております。調理員に故障の予兆についてヒアリングしましたが、特別予兆は見受けられず、本日稼働中に突然動かなくなりましたところでした。給食センターが新しくなってからまだ6年経過でありますので、ベアリングの故障は予想できなかったと考えております。しかしながら、こういった事態も発生し得るということで、メンテナンス方法については清掃も含めて再確認して参りたいと思います。

**(松尾委員)**

ありがとうございます。加えてもう1つが公民館夏まつりなのですが、こちらは以前の公民館まつりとは別な物と考えたほうがよいのでしょうか

**(齊藤課長)**

いいえ、以前春先に行っていた公民館まつりを夏に実施しているというものになります。公民館まつりは、旧公民館で開催していたのですが、利用団体の数も増えて、あの場所で一斉に開催することが難しくなっているという課題がありました。学び交流センターを開催場所として新しい公民館まつりを見つけていこうということで、ただ今、様々試行錯誤している段階です。前回3月は体験型の公民館まつりとして色々やってみたのですが、団体間の交流というのがなくなってしまって、さみしいというような声もありました。今回は全ての団体をお呼びすることはできなかったのですが、可能な限り多くの団体で交流を主軸にして開催しようと考えております。また、かつて寄せられた意見の中に、時期的には春ではなく、夏の開催でもいいのではないかという意見もありましたので、今回は夏の開催としたところです。

**(松尾委員)**

では以前の公民館まつりが夏に開催されていると考えていいのですね。

**(佐々木教育長)**

ほかにご質問等ございませんか。

**(坪田委員)**

公民館まつりは開催されるようですが、図書館まつりは中止になったかと記憶しています。理由としましては新型コロナウイルス感染症拡大の第9波があり、図書館まつりでは、飲食も想定されるためということだったのですが、市民目線では公民館も図書館同様、市の施設ですので、その取扱いが異なることについては理由があるのでしょうか。

**(伊藤次長)**

市民から見たときに公民館まつりは実施するけれども図書館まつりは中止というのは、その取扱いの違いに違和感を持たれるかもしれませんが、今回は運営委員会の意見を尊重することといたしました。公民館まつりの実行委員会内でも中止にしたほうが良いというような意見も出ていたようですが、最終的には、施設や屋外も活用し、実施していこうと実行委員会で決定したところです。図書館まつりについては、もう少し規模を縮小して実施するというような選択肢もありましたが、巢民団体のからは、図書館まつりという名前を掲げる以上、今までの図書館まつりのイメージを大切にしたいという意見が多くありました。そういった運営委員会など実際に運営に携わる市民団体の意見を尊重した結果になっております。

**(坪田委員)**

学校の運動会に関しても、保護者の方々から分散開催や競技種目も一部に縮小し、開催していることについては、隣の学校の取扱いと比較して残念がる声も聞こえてきております。図書館まつりと公民館まつりを比較したときに各市民団体の存在は一般の市民はあまり意識しづらいかもかもしれませんね。

**(伊藤次長)**

図書館まつりについては、広報メモも使って周知させていただきましたけれども、今後、窓口等でお問い合わせいただきましたら、こちらで丁寧に説明してまいりたいと考えております。

**(蛭谷部長)**

コロナ禍以前の活動がこれから平常に戻っていくなかで、ある行事は、ほぼ以前と同じように開催できるようになったものもあれば、コロナ禍を経て新しい形が見えてきた行事もあります。運動会はその1つの例であります。そこには、色々な考えがあると思います。例えば授業数が減ってしまうだとか、逆にこれが天候によって日程がずれたとしても、保護者の負担がなくて良いのではないかというように色々な考え方が出てきました。当初は保護者から「なぜ？」というような意見もありましたが、2年、3年と続いて、受け入れられてきているところでもあります。コロナ禍を一つの契機として、昔ながらのおまつりとして盛大に開催したいという考えもあれば、違った開催の仕方を模索するという考えもございます。教育委員会は学校も含めて生涯学習部全体のイベントがございまして、伊藤次長からもありましたけれども、今年はなかなかわかりづらく、市民

の方からは一方の行事は完全復活していて、もう一方ではどうしてと思われることもあるかと思いますが、その点については丁寧に説明しつつ、アフターコロナのニーズに合ったやり方が出てきたのであれば、その状況に合った中で開催、実施していくというのも一つの方法であると考えます。画一的にこうあるべきだという一方的な主導ではなく、色々な考え方、価値観というのが出てきていますので、そういう部分も踏まえながら考えていければと思っています。

**(坪田委員)**

説明ができればいいなと思っています、運動会に関しては、教育的な課題のようなものがあり実施されていたのだと思います。もちろんアフターコロナもわかります。私も同じように保育園で行事をやっているものですから、半分ずつに分けて実施する方がスムーズですとか、コロナ禍を経て色々な気づきがあったことも理解はしています。保護者としては以前と同じように開催ほしいという気持ち強いので、丁寧な説明と理解を求めることが重要なのかなと思います。

**(松尾委員)**

今の話に付随してなんですが、図書館まつりや公民館まつりの話とは、ずれてしまうかもしれないのですが、学校の運動会やそのほかの行事というのは、もちろん、各学校の考え方があるというのはわかりますし、それぞれの試行錯誤の中で実施していらっしゃるのだと思うのです。先ほど蛭谷部長がおっしゃられたように、コロナ禍から明けていく中でどういう風にやっっていこうか、各学校それぞれ手探りであるため、実態として学校によって大きく実施様態が違ってきているというのも耳にします。各学校で方針を決めて実施することを否定するつもりはないのですが、特に保護者や関係者の関心の高い行事に関しては市内で連絡調整をして、ある程度足並みを揃えられるほうがいいのではないかなと感じたりはしています。

**(高橋次長)**

市内での実施方法のすり合わせについてですが、どこかの学校で先んじてやっていることに追随するという傾向にありますので、私が長年見てきた傾向としては数年をかけて統一されていくと考えております。

**(佐々木教育長)**

すり合わせを行うということになると、ある意味全員一致でないと変わりようもないということもございます。善かれ悪しかれというところがあるのでしよう。ですが、実施した結果を各学校に共有して周知していただくとか、そういう



ことはできるかもしれませんがね。運動会の種目の話としては、令和2年度に開催されていれば、そこで丁寧に説明できたはずなのですが、それもかなわず、うまく説明する機会がなかったというのは、少なからずあるかもしれません。坪田委員の周りでは、少なからずそのように考える保護者がいたということですから、そういった声もあることを各学校に周知して、改めて保護者にきちんと説明するよう促したほうがいいのかもかもしれません。

**(坪田委員)**

学校の時数に限界があるのもわかりますし、先生たちも精一杯頑張っているのもわかります。ですので、そういった声が出ないためにも何とか説明を果たせたらいいなと思います。

**(高橋次長)**

10月、11月には文化祭、学芸会も入ってきますので、次回の校長会にて丁寧な説明については私から申し送っておきます。

**(佐々木教育長)**

ほかにご質問等ございませんか。

**(鈴木委員)**

公民館夏まつりに話は戻るのですが、今手元にいただいたこのチラシは通知で使われているものになるのでしょうか。

**(斉藤課長)**

これから通知の際に使用するもので、まだ実際に配布はしておりません。

**(鈴木委員)**

私も学び交流センターを利用させていただいて、そこでよく耳にすることとして、場所が少しわかりにくいというような声を耳にします。せつかくの機会ですので、より多くのお客さんに来ていただけたらと思っています。チラシにわかりやすい地図など載せることは可能でしょうか。

**(斉藤課長)**

検討させていただきます。

**(鈴木委員)**

よろしくお願ひいたします。

(佐々木教育長)

ほかにご質問等ございませんか。

(坪田委員)

親子連れで行く方は駐車場のことを気にされる方が多いので、どのくらい停められるかという表記があってもいいかもしれませんね。

(佐々木教育長)

ご意見ありがとうございました。

(佐々木教育長)

ほかにご質問等ございませんか。

【質問なし】

(佐々木教育長)

ないようでございますので、その他については、了解ということでよろしいですか。

【異議なし】

(佐々木教育長)

その他については了解といたします。以上で日程第5その他を終了いたします。

## 日程第6 次回定例会の開催日程

(佐々木教育長)

次に日程第6 次回会議の開催についてを議題といたします。次回は、7月25日、火曜日午後1時30分からの開催を予定してございますので、よろしくお願ひいたします。

**閉会宣言**

(佐々木教育長)

以上をもって、6月定例会の案件はすべて終了いたしました。これをもちまして、令和5年度教育委員会会議6月定例会を閉会いたします。

閉会14時40分

## 会議録署名

上記会議の経過を記録し、その相違ないことを証するため、ここに署名します。

令和6年3月26日

教育長 佐々木 隆哉

署名委員 坪田 清美